



ペリティビデオ

1

# 干潟を歩いてみよう

## 【ねらい】

- 干潟を実際に歩くことで、干潟がどんなものからできているか、また、小石や土、どろの様子を感覚的にとらえさせる。
- 干潟の広がりをとらえることができるようとする。

## 【実施の条件】

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| ●対 象／保育園、幼稚園、小学校低学年 | ●時 間 帯／昼間（干潮時） |
| ●人 数／5人～10人程度       | ●場 所／干潟        |
| ●季 節／春～夏            | ●所要時間／20分程度    |

## 【準備するもの】

ながぐつ、竹のぼう、鉛筆、板（50cm×1mを2枚）

## 【すすめ方】

干潟には、砂が多いもの、小石が多いもの、すべて泥からできているものがある。小石が多いところは歩きやすいものの、泥が多いところは、泥にはまって足をとられてしまう。

実際に干潟を歩くことで、干潟の様子をとらえよう。

### ① 少し高いところから干潟を見渡してみよう。

- 干潟の広さは運動場の何個分だろう？とってもひろいなあ。
- 干潟では歩くことができるかな？

### ② 干潟に入ってみよう。（事前に指導者は歩くことが可能かどうか確かめておきましょう。）

- 2つの基地を決めよう（10m間隔をあけて、退避用の板をおく）。
- 板から板へ歩いてみよう。歩きやすいかな？歩きにくいかな？
- とっても歩きにくいよ！

### ③ 足がどのくらいまるだらうか。

棒で深さをはかってみよう

- どろが多いためか、足がうまってしまうよ。
- どろにながぐつがとられてしまう。
- 砂が多いとあまり足がうまらないよ。

〈注意：潮の満潮、干潮時刻を把握し、  
沖まででないようにする。〉



# ひがたを ある 歩いてみよう



- ① 少し高いところからひがたを  
見わたしてみよう。
- ② ひがたにはいってみよう。
- ③ 足がどのくらいまるだろうか。  
ぼうでふかさをはかってみよう。



ペリティビデオ

2

# 干潟の生き物探し

## 【ねらい】

- 干潟に見られる生き物の足あとや痕跡に気づかせ、干潟には多くの生き物が生息していることをとらえさせる。
- 干潟のもようをつけた生き物に気づかせる。
- 干潟に住む生き物や豊かな干潟を大切にしようという気持ちを育む。

## 【実施の条件】

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| ●対 象／保育園、幼稚園、小学校低学年 | ●時 間 帯／昼間（干潮時） |
| ●人 数／5人～10人程度       | ●場 所／干潟        |
| ●季 節／春～秋            | ●所要時間／40分程度    |

## 【準備するもの】

記録カード、鉛筆

## 【すすめ方】

干潟には、思ったより多くの生き物が棲んでいる。  
干潟の穴や、もよう、土のかたまりをさがしてみよう。  
生き物の歩いたあと、すみか、はったあと、食べ物のかすなどをみつけよう。

- ① 干潟のもようをさがそう。
  - あちこちに「あな」や「あしあと」があるぞ。
  - 砂のかたまりがあるぞ。
- ② もようのスケッチをしよう。
  - いろいろな「あしあと」があるぞ。
  - おもしろい形だなあ。
- ③ もようをつけた生き物をさがそう。
  - 「あな」の中には何がいるのかな？
  - だれの「あしあと」だろう？  
(カニの仲間、鳥の仲間程度で扱う。)



※スケッチは干潮時に行う。時間がかかる場合は、潮の様子に注意する。

※歩きにくい場所もあると思われる所以、干潟のまわりの堤防を利用する。

※あちこち歩き回ると、もようが消えたり、本来生息している生き物も出てこないので、立ち入らない一定区域を決めておくようにする。

# どんな生きものがいるかな？

【カニの巣や鳥のあしあと】



- ① ひがたでもようをさがそう。
- ② もようのスケッチをしよう。
- ③ もようをつけた生きものをさがそう。

# 【どんな生きものがいるかな？】

ひがたで見つけた「もよう」をスケッチしよう。

もようのスケッチ	き 気がついたこと



バリエーション

3

# 水鳥のモデルさん、こんにちは

## 【ねらい】

- 河口、干潟に生息する水鳥の簡単なぬり絵をとおして、いろいろな水鳥がいることや、それは季節によって異なることをとらえさせる。
- 河口や干潟に生息する個々の水鳥は、特徴的な模様や色をした姿をしていることに気づかせる。
- えさの豊富な干潟には多くの水鳥が集まることに気づかせる。

## 【実施の条件】

- |                     |               |
|---------------------|---------------|
| ●対 象／保育園、幼稚園、小学校低学年 | ●時 間 帯／昼間     |
| ●人 数／5人～10人程度       | ●場 所／干潟、河口、海岸 |
| ●季 節／四季をとおして        | ●所要時間／40分程度   |

## 【準備するもの】

ぬり絵カード、鉛筆、色鉛筆、双眼鏡、フィールドスコープ

## 【すすめ方】

河口や干潟にはたくさんの水鳥が集まる。

水鳥にはシギのなかま、カモのなかま、サギのなかまがいる。

カードの中の似ている鳥をさがして、洋服の色をぬってみよう。

たくさん作って水鳥のミニ図鑑を作ろう。

### ① 河口や干潟にいる鳥をさがしてみよう。

(必要に応じて双眼鏡を利用する。)

- いろいろな鳥がいるな。
- えさの多い干潟には多くの水鳥が集まるんだろうな。

### ② 水鳥のモデルさんの服を

ぬり絵カードにかいてみよう。

(色や模様が明瞭なオスに注目しよう。)

- 鳥によって模様がちがうな。
- どのシルエットに模様をかこうかな。

### ③ 水鳥がどんなことをしているか、よく見てみよう。

※春、秋にはシギ、チドリのなかまをよく見かけることができる。

秋から冬にかけてはガンやカモ、四季をとおしてサギのなかまを見ることができる。

※河口や干潟は天候や場所によっては危険な場合もある。保護者や指導者とともに行動、観察することが大切。

干潟にはむやみに入り込まないようにする。

〈バリエーション〉 冬期と夏期に実施し、すむ鳥のちがいをとらえる。



みずどり

# 水鳥のモデルさん

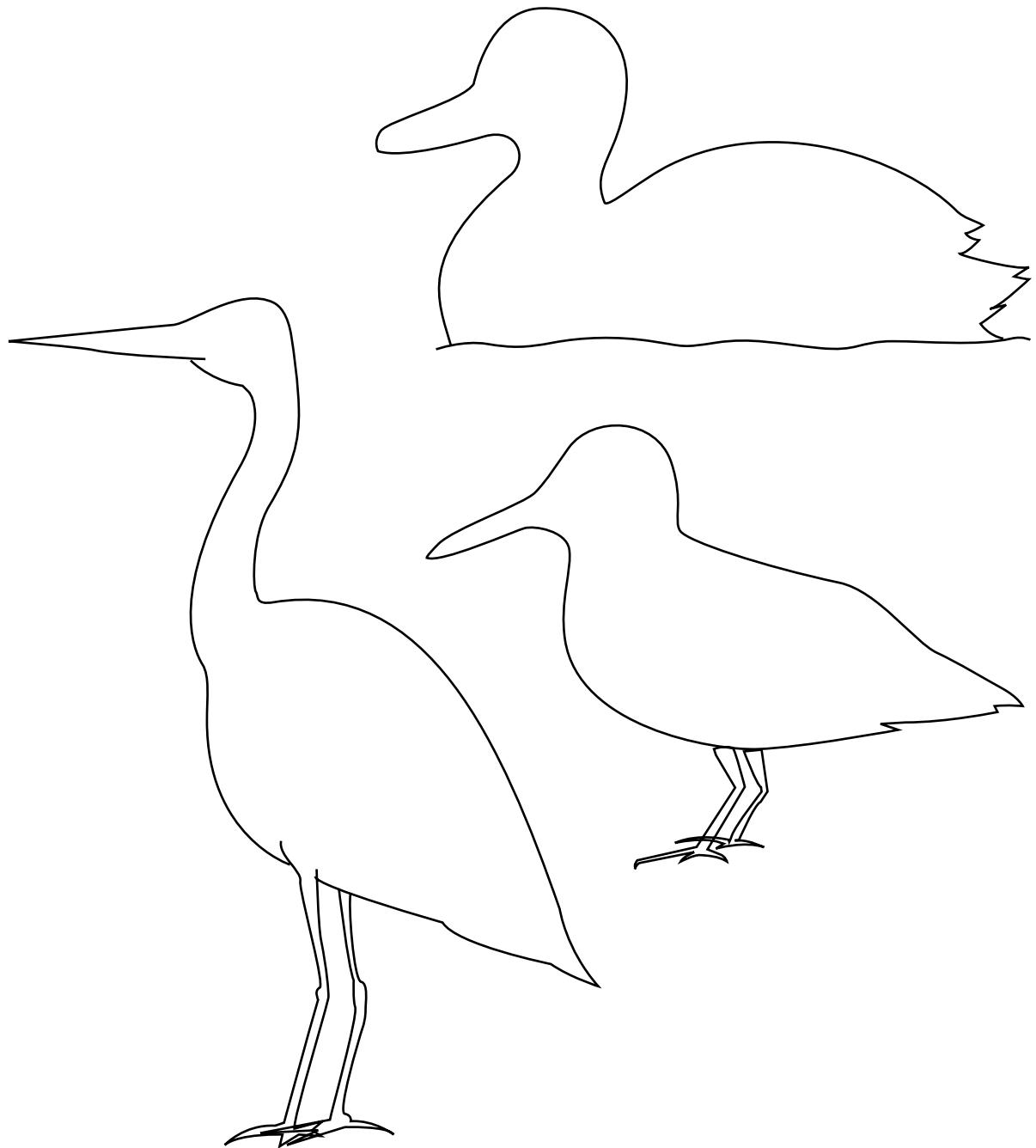
## こんにちは



- ① 河口やひがたにいる鳥をさがしてみよう。
- ② 水鳥のモデルさんの服を  
ぬり絵カードにかいてみよう。
- ③ 水鳥がどんなことをしているか、  
よく見てみよう。

みずどり  
【水鳥のぬり絵カード No. 】(幼児用)

月 日( ) ばしょ( ) てんき( )



★気がついたこと

【水鳥のぬり絵カード No. 】(児童用)

月 日( ) ばしょ( ) てんき( )

★気がついたこと